

「剛志学府」だより

回覧

第20号 R6. 6. 28



令和6年度第1回境西中学校運営協議会を6月12日(水)に開催しました。始めに、教育委員会より、学校運営協議会の基本方針についてご説明いただきました。

学校運営協議会とは



(伊勢崎市教育委員会 伊勢崎学校教育構想より)

学校運営協議会は、保護者や地域の方が委員となって、普段考えている「子供達にはこうなってほしい」、「学校はこうあるべきではないか?」といった忌憚のないご意見をいただき、協議し、連携・協働して境西中を良くし、地域も元気になることを目指しています。また、学校運営協議会のある中学校を中核として、剛志小を含めた境西中学校区の地域の方々と連携・協働した人づくりを行う仕組みを剛志学府制と呼んでいます。児童・生徒育成のため、委員の皆様が学校運営に関わっていただいています。

☆本年度の目指す子供像・地域像と境西中学校運営協議会委員です どうぞよろしくお願い申し上げます

剛志地区目指す子供像

自ら考え、判断し、決定し、行動する子供

剛志地区理想の地域像

「自律」した大人が暮らすまち

氏名	職名等		氏名	職名等	
塩尻 飛鳥	PTA書記	新規	高木 幸喜	元PTA会長	新規
倉林 絵里子	PTA会計	新規	須藤 容敏	元境剛志小学校長	継続
関口 正美	区長会代表	新規	森村 尚之	青少年推進委員	継続
永井 芳穂里	民生・児童委員代表	継続	町田 修	境剛志公民館長	新規
佐藤 佳代子	元境西中学校教諭	継続	三木 俊幸	境剛志小学校長	継続
◎中島 直人	元滝道第二小学校校長	継続	梅堀 ひろえ	境西中学校長	継続

事務局 森戸 賢多(伊勢崎市教育委員会)

櫻澤 直明(伊勢崎市教育委員会)

日暮 由貴(境西中学校教頭)

久保田 雅彦(境西中学校教務主任)

今 聡子(境西中学校校務支援員)

◎会長 (敬称略)

1. 協議

委員の皆様には5時間目の授業参観をしていただいた後、梅堀校長、三木校長より、本年度の各学校の学校経営方針をご説明いただきました。委員の皆様から、ご質問、貴重なご意見をいただきました。今年度、運営協議会はあと3回を予定しています。活発な協議ができることを期待しています。



令和6年度 境西中学校の現状と課題	
生徒数 147名(昨年度より10名減)	クラス数 各学年2クラス 特別支援学級 2クラス 部活数 8部活
学校教育目標	笑顔あふれ活力ある生徒の育成
境西中という小さな社会、学校生活で過ごしている生徒が、卒業後にもたくましく生きていって欲しいと強く願っています。そのために必要なことは「自律」＝自分で考え、決定し、行動することだと考えています。誰かに言われ取り組むのではなく、物事を他人事ではなく自分事として考え、自分から主体的に取り組む力が大切になります。 また多様化した社会において他者と共に生きる＝「共生」を意識し、思いやりのある生徒の育成を目指していきます。	
令和5年度「自律と共生」が見られた活動 (※_____は新しい取り組み)	全校：剛志小との合同あいさつ運動、3年生を送る会（縦割り活動）等 2年生：伊勢崎特別支援学校との交流学习 等 3年生：保育園実習、御嶽山クリーン作戦、2年生対象 高校入試対策プレゼン 等
課 題	来年度のクラス編成ですが、新1年生が1クラス、特別支援学級も1クラス減となります。クラスが2減となるため、職員数が3名減の予定です。部活動顧問については、基本一部活に2名の顧問を配置していますが、1名の職員が兼任している状態です。来年度以降は職員減となり、さらに配置が難しくなります。伊勢崎市では土日の部活動の地域移行を目指し、境地区が指定を受け、境西中・北中・南中で月に一回合同練習を行っています。今後の部活動について地域移行も含め、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

令和6年度 剛志小学校の現状と課題	
児童数 251名	クラス数 1～5年 2クラス 6年 1クラス 特別支援クラス 2クラス
目指す学校像	『楽しさ』『おもしろさ』『喜び』にあふれる学校
子供たちはもちろん、学校に関わる保護者、地域の方、教職員など、関わる全ての人を楽しめる学校にしたいと考えています。そして、「<u>自律する力</u>」を育て高める、「<u>なりたい自分</u>」を目指す心を育て、自分の成長を実感させる、「<u>人間関係形成力を育てる</u>」という3つを柱に、学校経営を進めています。	
課 題	・学校評価アンケート結果から、保護者の方の回答で、「家庭学習の時間が目標に達していない」という評価をいただいています。現状、宿題や家庭学習は、タブレットも活用をしているので、学習の仕方と目評時間にギャップを感じます。時間ではなく、前向きに自分から取り組めたかななどを評価していくのが良いのではないかと、西中とも相談し、今後質問の変更を検討しています。 ・不登校については、登校に気が進まない児童が見られたら、家庭と連携を密にして、剛志小が、子供たちにとって安心して自分を発揮できる居場所となれるよう、指導を継続していきます。 ・学習面、生活面で個別対応が必要な児童には、担任以外の支援員、相談員、スクールカウンセラーも含め、全職員で情報共有して、指導をしていきたいと思っています。 ・いじめはどの学校でも起こりえるものと考え、毎月行うアンケート等から、全職員で子供たちを良く見て、異変があればすぐ察知できる体制を整え、継続して指導していきます。

2. 剛志学府の活動内容について

本年度も、昨年度と同様にフードドライブ事業を計画しています。

ご協力をお願いいたします。

